

【人材の養成に関する目的】

<p>■文学部 文化現象の総合的理解およびその継承を基本理念とし、その実現のために、少人数教育を基本とする教養教育および専門教育との適切な調和を考慮したきめ細かなカリキュラムによって、問題発見能力および多面的な分析能力の伸長を図ること、ならびに言葉を通して形づくられた人間、歴史および社会の多様なあり方を考究し、共感を持って他者を理解する能力および自己を他者に正確に伝達する能力を涵養することによって、社会的な活動を自律的に展開するための基礎を構築することを目的とする。</p>	<p>■英語英米文学科 1 自国の文化及び異文化を相対化して読み解く力を養成する。この目的のため学生は、英語を学ぶことにより言語そのものに対する意識を培い、英語圏の英米文学・文化を学ぶことにより文化が言葉によって成り立つことを理解する。 2 真の国際感覚を備えた人材及び日本の英語教育に貢献する人材を養成する。この目的のために学生は、外国語としての英語の運用能力を強化し、英語圏の言語・社会・文化・コンテキスト・芸術・思想について幅広い理解を得る。</p>
---	--

【ディプロマ・ポリシー（DP）】

文学部英語英米文学科は、大学全体の学位授与方針に基づき、「専門分野の知識・技能の修得」「教養の修得」「課題の発見と解決」「表現力、発信力」「多様な人々との協働」「自発性、積極性」の各項目に関して、以下の基準に到達するように編成された教育課程において、所定の単位を修得した者に対して学士（文学）の学位を授与します。

<p>【専門分野の知識・技能】 （DP1-1）英語英米文学科の専門分野に関する知識・技能を修得している。 （DP1-2）文化的他者とのコミュニケーションにおいて基礎的な技能となる英語力を修得している。また、そのために必要な言語・社会・文化・歴史・芸術・思想に関する専門的な知識の中から個人の関心に応じて必要なものを修得している。 （DP1-3）言語学の基礎的な概念及び理論を修得し、言語学の方法論を用いて英語や比較としての他言語の仕組みを分析し理解することができる。 （DP1-4）英語圏文学・文化の成り立ちを理解し、代表的作品に触れ、それらについて専門的見地から分析し理解することができる。 （DP1-5）第一・第二外国語習得論や語用論等、英語教育に必要な実践的知識や技能を修得している。 （DP1-6）主要な英語圏の芸術・思想について熟知し、それらについて専門的見地から分析し理解することができる。</p>	<p>【課題の発見と解決】（情報の調査収集＋分析・解釈＋論理的思考） （DP3-1）課題の本質を発見するために必要な情報（文献、統計等を含む）を調査収集し、それらを的確に解釈・分析し、課題の解決に向けて論理的に思考する能力を身に付けている。 （DP3-2）言語にまつわる課題の本質を発見するために、文献にあたり、課題解決に必要なデータなどを収集して調査を行い、得られたものを論理的に分析及び考察することができる。 （DP3-3）英語圏文化に関わる課題の本質を発見するために、関連文献を調査収集し、作品とそのコンテキストを的確に解釈・分析して、課題の解決に向けて論理的に思考する能力を身に付けている。 （DP3-4）英語教育に関わる課題の本質を発見するために、社会調査等のデータを収集・分析することで、論理的な思考を行い適切な結論を導き出す能力を身に付けている。 （DP3-5）英語圏の芸術・思想に関わる課題の本質を発見するために、関連文献を調査収集し、それらを的確に解釈・分析して、課題の解決に向けて論理的に思考する能力を身に付けている。</p>
<p>【教養の修得】（広い視野での思考・判断） （DP2-1）人文科学、社会科学、自然科学及びこれらにまたがる学際的な分野に関する基礎的な知識を修得し、広い視野で思考・判断を行うことができる。 （DP2-2）言語学、翻訳・通訳学の方法を中心として、必要に応じて文化研究など学際的な視点から言語、文化を相対的に観察し分析することができる。 （DP2-3）階級・人種・ジェンダー・精神分析といった領域横断的な批評理論の基本的知識を身につけることで、複数のコンテキストを踏まえて思考・判断を行うことができる。 （DP2-4）第一・第二外国語習得論や語用論といった、英語教育で必要とされる実践的知識や技能の修得している。 （DP2-5）英語圏の多様な芸術・思想を学ぶことで、自己を相対化し、他者や世界との関わりをなかで思考・判断を行うことができる。</p>	<p>【表現力、発信力】 （DP4-1）自分の意見や考えを、外に向けて的確かつ明瞭に発信できる豊かな表現力を身に付けている。 （DP4-2）学術的 주제 についての分析、考察、結論づけを少人数制の演習（セミナー）での発表やレポート・卒業論文の作成を通じて、他者にわかるように論理的に伝えることができる。</p>
	<p>【多様な人々との協働】（コミュニケーション＋協調性＋チームワーク） （DP5-1）多様な人々と協働して課題解決に取り組んだ経験を通じて、多様な価値観を受容し、協調性やコミュニケーション力を身に付け、チームの中で自分の役割を的確に果たすことができる。 （DP5-2）少人数制の演習（セミナー）で他の受講生たちと協働して課題解決に取り組むことで協調性を身につけるとともに、他者との関わりをなかで自らの役割が認識できるようになる。</p>
	<p>【自発性、積極性】 （DP6-1）学びで獲得した知識・技能を、様々な活動（正課・正課外や学内・学外を問わず）において自発的・積極的に活用した経験を有している。</p>

※ 全学共通科目については、「全学共通科目（成蹊教養カリキュラム）：学修・教育目標（科目グループ別カリキュラム・フロー）」を参照。

科目グループ	主なDP	科目グループの学修・教育目標	1年次 配当科目・単位数		2年次 配当科目・単位数		3年次 配当科目・単位数		4年次 配当科目・単位数	
			第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム	第5ターム	第6ターム	第7ターム	第8ターム

1 専門科目

必修科目	英語 必修科目	1-1 1-2 1-5	英語圏文学・文化、英語学、英語教育の分野の専門性を高めるために、外国語としての英語の運用能力を強化する。	Summer Intensive 140② Integrated English 141②	Integrated English 241②	Integrated English 341②	Integrated English 441②	Integrated English 541②	Integrated English 641②		
	演習科目	1-1 1-2 3-1 4-1 4-2 5-1 5-2	英語英米文学科の専門分野に関する知識・技能を修得し、批判的・論理的思考力、課題探求・問題解決力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を身に付ける。	セミナー100②	セミナー200②	セミナー300②	セミナー400②	セミナー500②	セミナー600②	セミナー700②	セミナー800②

卒業論文⑧ ←

フォーカス（言語と社会）	1-1 1-3	言葉と社会の間には絶え間ない相互作用があり、言葉は人々と社会を映し出す。このフォーカスでは、そのような言葉の仕組みとその動きを社会との関係性の中で深める。	英語学入門210②	英語音声学 311② 英語史A 312② 翻訳・通訳学A 313② English Around the World 314② 対人関係の言語学 315② 社会言語学316② 英語学研究基礎A317② 英語学研究基礎B318② 音声分析411② 英語史B412② 翻訳・通訳学B413② 英文法414② 英語学研究発展A415② 英語学研究発展B416② 英語学研究発展C417②
	フォーカス（文化とコンテキスト）	1-1 1-4	人が使う言葉には必ず背景があり、それを知ることにより優れた英語使用者となる。語学としての英語を学ぶだけでなく、英語で文化を学ぶ。	英語圏文化入門220② 英語圏文化321（精神分析）② 英語圏文化322（コミュニケーション）② 英語圏文化323（ジェンダー）② 英語圏文化324（人種）② 英語圏文化研究基礎A325② 英語圏文化研究基礎B326② 英語圏文化研究基礎C327② 英語圏文化421（戦争）② 英語圏文化422（複言語・複文化主義）② 英語圏文化423（ポストコロニアリズム）② 英語圏文化424（レイシズム）② 英語圏文化425（児童文学）② 英語圏文化426（英語教育）② 英語圏文化研究発展A427② 英語圏文化研究発展B428②

科目グループ	主なDP	科目グループの学修・教育目標
選択科目		
フォーカス (芸術と思想)	1-1 1-6	英語圏の芸術や思想を学び、その特徴や感性、歴史を知ること、英語という言語が文学や哲学だけでなく、音楽のような聴覚芸術や映画、絵画という視覚芸術の成立にも影響を及ぼしていることを理解する。
英語選択科目	1-1	英語必修科目以外の英語の基礎的な文法理解能力を養い、またはより発展的な英語ライティング能力を高めることを目指す。
関連科目	2-1 2-2	英語圏を中心とした西洋の思想・歴史・文化の学修を通じて、国際感覚を持って人間を見つめる視点を身に付ける。

1年次 配当科目・単位数		2年次 配当科目・単位数		3年次 配当科目・単位数		4年次 配当科目・単位数	
第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム	第5ターム	第6ターム	第7ターム	第8ターム
英語圏芸術・文学入門 230②		アメリカ文学史331② イギリス文学史332② 音楽芸術研究基礎333② 視覚芸術研究基礎A334(映画)② 視覚芸術研究基礎B335(画像)② 舞台芸術研究基礎336② 英語圏芸術と文学研究基礎337②		英語圏芸術・文学A431(インターテクスチュアリティ)② 英語圏芸術・文学B432(ボディ・アンド・マインド)② 英語圏思想A433(近代以前)② 英語圏思想B434(現代)② 宗教と芸術435② 批評理論436② 21世紀の英語圏芸術と文学 437② 英語圏芸術と文学ワークショップ 438②			
Grammar Basics 142①		Writing for Academic Purposes 343②					
ヨーロッパの歴史と文化A② アメリカの歴史と文化A②		ヨーロッパの歴史と文化B② アメリカの歴史と文化B②		ヨーロッパ文化・文化史特講A② ヨーロッパ文化・文化史特講B② アメリカ文化・文化史特講A② アメリカ文化・文化史特講B② 英語・英米文学研究A② 英語・英米文学研究B② 英語・英米文学研究C② 英語・英米文学研究D②			
トピック・セミナーA② トピック・セミナーB② トピック・セミナーC② トピック・セミナーD② トピック・セミナーE② トピック・セミナーF②		ラテン語② 古典ギリシア語②		展示から探る歴史・文化②			
文化政策学② アート・アドミニストレーション② 地方自治体の文化行政② 文化政策と法② 舞踊論② アート・ジャーナリズム② 上演芸術論② 芸術文化行政特講A② 芸術文化行政特講B② 写真論②		制作実習A② 制作実習B② 制作実習C② 制作実習D② 制作実習E② 制作実習F②		日本語教育概論② 日本語教育方法論② 日本語教育理解と実践②日本語教育事情② 言語学講義(言語と社会)② 日本語の学習と習得②言語の構造② 対照言語学②		日本語教授法② 日本語教育演習② 日本語教育実習①	
文学部総合講義A② 文学部総合講義B② 文学部総合講義C② 文学部総合講義D② 文学部総合講義E② 文学部総合講義F②		International Business② Japanese Economy② Current Topics in Business and Economics② International Relations② Regional Studies② Current Topics in Global Issues② Japanese Contemporary Issues② Japanese Traditional Culture② Current Topics in World Affairs②					

## 2 自由設計科目(選択科目)

文学部共通科目	トピック・セミナー	2-1	テーマに沿ったいくつかのトピックを取り上げた学修を通じて、専門への基礎となる幅広い素養を身につける。
	ことばの世界	2-1	古典語の学修を通じて、語学力を磨き、異文化に対する理解を深める。
	東洋文庫連携科目	2-1	東洋文庫との連携による講座を通じて、歴史・文化に対する理解を深める。
	芸術文化行政コース開設科目	5-1 6-1	行政による芸術文化支援について学修し、芸術文化振興の担い手として必要とされる知識と能力を身につける。
	日本語教員養成コース開設科目	4-1 6-1	外国人に対して日本語を教授するために必要な言語としての日本語をめぐり知識および日本語教授法の実践について学修する。
	文学部総合講義	2-1	外部機関との連携等による講座を通じて、幅広い教養を身につける。

トピック・セミナーA② トピック・セミナーB② トピック・セミナーC② トピック・セミナーD② トピック・セミナーE② トピック・セミナーF②		ラテン語② 古典ギリシア語②		展示から探る歴史・文化②			
文化政策学② アート・アドミニストレーション② 地方自治体の文化行政② 文化政策と法② 舞踊論② アート・ジャーナリズム② 上演芸術論② 芸術文化行政特講A② 芸術文化行政特講B② 写真論②		制作実習A② 制作実習B② 制作実習C② 制作実習D② 制作実習E② 制作実習F②		日本語教育概論② 日本語教育方法論② 日本語教育理解と実践②日本語教育事情② 言語学講義(言語と社会)② 日本語の学習と習得②言語の構造② 対照言語学②		日本語教授法② 日本語教育演習② 日本語教育実習①	
文学部総合講義A② 文学部総合講義B② 文学部総合講義C② 文学部総合講義D② 文学部総合講義E② 文学部総合講義F②		International Business② Japanese Economy② Current Topics in Business and Economics② International Relations② Regional Studies② Current Topics in Global Issues② Japanese Contemporary Issues② Japanese Traditional Culture② Current Topics in World Affairs②					

複合・学際科目	EAGLE科目	2-1	高い英語力を備え国際的な活動に関心のある学生を対象とした全学的なグローバル教育プログラム(EAGLE)の科目であり、グローバル市民として国際性と学際性の高い知見と教養、ビジネスや実社会で求められる主体性及び実践的なスキルを養う。
	全学共通科目超過単位	-	各科目グループ、全学共通科目の規定の単位数を超えて修得した単位、他学科科目、他学部科目の履修、他大学との単位互換制度で修得した単位を卒業のための単位として認めるための区分であり、学生自身の興味や将来の目標などに応じて、長期的な履修計画を立てながら有効に活用することができる。
	他学科・他学部・他大学	-	各科目グループ、全学共通科目の規定の単位数を超えて修得した単位、他学科科目、他学部科目の履修、他大学との単位互換制度で修得した単位を卒業のための単位として認めるための区分であり、学生自身の興味や将来の目標などに応じて、長期的な履修計画を立てながら有効に活用することができる。

(全学共通科目の所定の単位を超過して修得した単位：6単位まで卒業に必要な単位に算入。)	
(他学科の専門科目、他学部の専門科目および単位互換制度による他大学開講科目で修得した単位)	